

2018/11/18 (日) おぐらさん
御座山 (2112m) 白岩コース

参加メンバー : Ogi、F、Ta、Tsu

早朝の天気は曇り。北相木村白岩地区の農道を登山口へと向かう。山の急斜面を開墾した段々畑がいくつもいくつも広がっている。よくまあこんな山の上まで開墾したものだ后感心する。農道つきあたりの登山口には1台の車も無い。マイナーな登山口だから？

防獣柵を開けていざ出発。今朝は結構冷え込んで霜が降りた模様。紅葉を終え枯葉色となったカラマツ林の登山道。降り積もった落ち葉を踏み締めながら尾根をめざす。所々霜柱があり晩秋山行そのものである。

程なく一般的なルート長者の森コースとの分岐に着く。急斜面をジグザグに上がって行くとシクナゲの群生地に差し掛かる。ピンクのアズマシクナゲと白のハクサンシクナゲの両方が群生しているようで、見事なトンネルが続いていた。その先に見晴台があり、浅間山、北八ヶ岳の展望が見られた。朝より多少天気が回復してきたみたいだ。一旦下って登りかえすと岩山の前衛峰に到着。一か所、木の根元に真っ白な霜柱状のものが一面に散乱しており何かと思ったら樹氷が樹上から落下した物だった。そう言えば下ってきた若者が「樹氷を撮っていた」と言っていた。岩場を下って急登の先に避難小屋出現。中を覗くとなかなかきれいで非常用の水も配備されており快適そうであった。その先の岩山が山頂になっており、賑やかな人の声が聞こえてきた。山頂から下りてきた年配の女性は諏訪の百名山に所属されているとの事。「他のメンバーは妙義山に行ったけど妙義は登り尽くしたからここに来た」「100名山は全部行った」と何とも頼もしい。

山頂には先客がいたが丁度入れ替わりとなり昼食とする。Oリーダーがとっておきの昼食を用意してくれた。何とチーズフォンデュのパーティーでした。とろけたチーズをパンや野菜にからませて美味しく戴きました。持ち寄りのおかずと暖かいお茶。贅沢な昼食を堪能。大満足！！

隣合わせた年配の男性。またまた大ベテランの地元、佐久の方で栗生コースからの登頂。鎖場が三か所くらいありなかなかスリルありおもしろいコースとのこと。展望で分からない山々の名前を皆教えていただいた。甲斐駒、北岳、間ノ岳、鳳凰三山、北アルプス、八ヶ岳の全貌が良く見え、雪が少ないのを実感する。両神山の情報なども詳しくお教えていただき、豪華な昼食と山談義に花が咲き1時間半ものんびり過ごしてしまった。着いた時は風が冷たく吹いていてあわてて着こんだが、昼食中は運良く風も治まりラッキーだった。

下山は休憩なく一気に下る。今日行き会った方々はベテランばかり。登りで立ち話をした若い男性も冬の赤岳単独登攀に備えて20Kgのザックを担いでトレーニング中なのだとか。その心がけには恐れ入ります。自分は担ぐだけでも精一杯。一步も登れませんね。今日は色んな方々の話が聞けて楽しい山行でした。

楽しい企画を考えてくれたリーダー、重い荷物を担ぎ上げてくれた若者2人に感謝です！！

【コースタイム】

茅野市運動公園駐車場 6:00

白岩登山口 8:00～長者の森分岐 8:30～見晴台～11:00 御座山山頂 大休憩 昼食

下山開始 12:40～前衛峰 13:10～白岩登山口 14:40



散乱している樹氷



ハヶ岳と雲海



御座山山頂



チーズフォンデュのパーティ

